

全国の学生と情報交流

人力飛行機部オンラインで



4年

近藤令奈

広島工業大（広島市佐伯区）のサークル「人力飛行機部」のメンバー8人が、人力飛行機の製作や開発に取り組み全国の学生との交流会にオンラインで参加した。同部は滋賀県彦根市で毎年開かれる「鳥人間コンテスト」への出場を目指して活動。全国の強豪チームから技術を学び、刺激を受けていた。

交流会には約150人が参加した。今も人力飛行機の製作やテスト飛行の支援などを行っている卒業生2人が、機体の作り方や滑空試験の方法などについて講演した。



広島工業大



全国の学生とオンライン交流する広島工業大の学生

交流会は例年、春と秋に開催されるが、昨年は2回とも新型コロナウイルスの影響で中止になった。広島工業大からは今回初めて参加する部員も多く、学生同士で飛行機の設計や飛行技術などについて情報交換して盛り上がりがあった。

人力飛行機部部長の機械シス

テム工学科3年中川博允さん

（22）は「部員全員にとっていい刺激になった。この経験をこれからの飛行機製作に役立てていきたい」と意気込んだ。

